

高齢者福祉タクシー券 利用条件の拡大を

高松 幸雄議員

介護予防外出支援として検討する
保険福祉部長



問 本市が実施している高齢者福祉タクシーは、介護予防に重要な役割を果たすことにもなる。

昨年度の申請者数は何人か。また、対象者の何割の人が申請をしたか。

答 申請者数は2060人で対象者の約20%。

問 申請はしたが、二枚も利用しなかった人は何人いるか。

答 令和4年3月31日現在で851人いる。

問 利用者から要望は。

答 利用範囲を広げてほしいとの要望はある。

問 80歳以上全ての方に交付を拡大した理由は。

答 公共施設や医療機関への移動時に利用してもらうことと、免許返納の促進も考えて拡大をした。

問 外出をサポートすることは介護予防にもつながるので利用条件を拡大

すれば、もっと喜ばれるのではないか。

答 介護予防の外出支援としての活用や、対象者、条件も含めて検討していきたい。

地方創生交付金で喜ばれた施策は

問 地方創生交付金を活用して実施した施策は。

答 上水道基本料金免除、小・中学校給食費無償化、プレミアム付商品券事業、商工業者のための冬支度応援事業などがある。

問 市民から喜ばれた施策は。

答 上水道基本料金を近隣自治体が6カ月間免除のところを8カ月間実施したこと。小・中学校給食費では、令和2年6月から3年3月までと、3年6月から3年12月まで無償化を実施したこと。

問 令和4年度の臨時交付金は、水道料金の負担軽減や、物価高騰による給食費の値上げを抑えるために活用できるが、市長の考えは。

答 今年度も学校給食の無償化を実施している。小学校1カ月4300円、中学校1カ月5千円を市として負担している。今後どのような事業を実施するのか検討していく。



▲市民から喜ばれた上水道基本料金免除事業
(イメージ写真)